

## 幹本申第5号「JR 東日本グループのさらなる飛躍に向けた新たな組織と働き方について」に関する説明申し入れ（その1）⑦

14. 異動の発令単位を「部」までとする目的を明らかにすること。

### 【回答】

新幹線統括本部における働き方は、個別の勤務場所に固定されるものではなく、より広い「部」のフィールドで活躍していくこととなることから、発令の単位は各部までとし、社員の所属は「各部」となる。

《組合》在勤地指定を行わないということだが、何故そのような考えになったのか。

《会社》再編後の組織の在り方からすれば、融合と連携を更に加速させていく意味からしても、従前の箇所、第一線の職場の枠組みにとらわれないような業務執行体制を構築していくことになる。

《組合》部内については業務内容変更、車両から設備など、部をまたぐ時は発令行為という認識で良いか。

《会社》認識の通りである。

《組合》新幹線はほぼ東日本エリア全域となるが、なぜ部としたのか。

《会社》新幹線統括本部としてもエリアで括ったほうが良いのか、部として括ったほうが良いのか検討を行い提案の内容となった。

《組合》事業本部のような形態は検討しなかったのか。

《会社》新幹線特有の課題を一気通貫で進めていく、新幹線統括本部発足時の考え方を踏襲しこの形になった。

※15 項は⑥にて内容を掲載します。

16. 各部における指揮命令系統を明らかにすること。

### 【回答】

新幹線本部では新幹線本部長のもと、業務管理規程等に則り業務執行していく。

《組合》各部における指示、命令は管理者が指示を行うのか。

《会社》管理者含め、その上長から業務指示が行われる。この問いについては、部全体で管理していくので、指揮命令系統が煩雑になって誰の指示を受ければよいのか困惑するのではないかという意図で受け止めている。社員が不安を抱かないような体制は敷いていく必要がある。

《組合》現在の現場長というものは残るのか。

《会社》現場長という呼称ではなくなるが、相応の管理者は配置される。場所というよりは、業務に対して必要な指揮命令系統であったり、必要な管理者を配置していく。

17. 各部各 UT における訓練・指導・教育はどこが行うのか明らかにすること。

### 【回答】

業務内容に応じて、必要な教育・訓練は実施していく考えである。

《組合》これまで行っている訓練等に変更はあるのか。

《会社》考え方が大きく変わるものはない。拠点を中心に実施していく。

《組合》乗務員の指導担当は配置されるのか。

《会社》新幹線統括本部としては考え方を大きく変えることは想定していない。車両、設備、電気についても教育・訓練体制に大きな変更はない。